

神奈川県議会議員

くさか景子の県政報告



発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子

連絡先 くさか景子事務所

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵 1-6-20 ヘルジュール・ワキ 201

Tel&Fax 0467 (58) 0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp

http://keikokusaka.fc2rs.com/



くさか景子

検索



くさか景子のハチドリのひとつ

平成28年第1回神奈川県議会定例会報告

2月15日～3月24日

くさか景子

平成28年2月24日

一般質問



1 神奈川県議会の未来をつくる取り組みについて

① 電力小売全面自由化に伴う電力の

「地産地消」の取り組みについて

(質問) この4月に電力小売全面自由化がスタートし、一般家庭を含む50kw未満の契約者も電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになる。電力小売自由化に合わせて、電力の地産地消を推進する取組に一層力を入れるべきと考えるが、所見を伺いたい。

(答弁) 分散型エネルギーシステムの構築を、来年度も推進するため予算を提案している。4月からの電力小売自由化を契機に、電力の地産地消をさらに促進していくためには、県民に地域で発電した電力を地域に供給する電力会社を選んでもらうことが重要。2月18日に横浜市内で「電力小売全面自由化説明会」を開催した。今後も説明会を開催するとともに、県内

の太陽光やバイオマス等の発電設備を有している発電事業者に、地域に電力を供給する電力会社に売電するよう働きかけ、必要な電力を確保する。

② かながわ女性の活躍応援団について

(質問) 昨年11月5日「かながわ女性の活躍応援団」が結成された。各団員の行動宣言を見ると、管理職の登用や、女性が働きやすい職場環境の整備など、自社内で女性が活躍しやすくするための取り組みに加え、業界団体に女性活躍を広く呼びかけるなど、社会的にムーブメントを拡大



一般質問登壇

する。そのため取り組みの取り組みも盛り込まれている。発信力のある大企業トップが、女性活躍の旗振り役となっ

てもらうことは非常に効果的だ。今年度

どのような取り組みを行い、その結果を踏まえ、今後どのように取り組んでいくのか。

(答弁) 「かながわ女性の活躍応援団」は、女性の活躍に積極的で、神奈川県にゆかりの深い企業の中から、日産ゴーン社長をはじめとする、強い発信力を持った大企業のトップの方々10名と知事の11名で結成した。テレビ神奈川の番組で12回にわたる取り組みを紹介した。2月末からは、横浜駅など駅構内のデジタルサイネージでPR動画を放映し、広く情報を発信していく。さらに10名程度の男性トップに参加を働きかけていく予定。順次中小企業にも広がっていききたい。

2 神奈川の将来を担う子どもや若者の施策について

① 子ども・青少年の居場所づくりに

ついて (質問) 夜間に子ども・青少年が安全・安心に過ごすことができる居場所づくりを進めることは大変重要である。子ども・青少年の夜間の居場所づくりに、具体的にどのような取り組みがあるか。(次ページへ)



(前ページより)

(答弁) 身近に頼れる大人がいない子ども・青少年を孤立させないよう、行政やNPO、企業などが連携してつくる、地域の「居場所」が必要とされている。県では新たに経済的に厳しいひとり親家庭などが親が仕事で不在がちな子ども・青少年が安心・安全に過ごすことができる「夜の居場所づくり」に取り組みすることとした。具体的には、夕方から夜にかけて、小中学生などが、気軽に、安心して立ち寄れる場所を、公共施設や空き店舗などの既存施設を活用して運営する、市町村の先導的な取り組みに対して、県が2ヶ所程度、モデル的に支援していく。



② 若者の就業支援について

(質問) 正規雇用を目指す若者が、人手不足の中小企業に正規雇用として就職する流れをつくることはできないか。そして若者が、中小企業に安心して就職できるように支援すべきと考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

(答弁) 非正規雇用の若年労働者のほぼ2人に1人は、正規雇用として働きたいという希望を持っている。若者採用に積極

的な中小企業と、正規雇用を目指す若者とのマッチングを推進するため、神奈川県労働局と連携して面接会を開催することとしている。若者の採用と育成に積極的と認められ、国から「若者応援宣言企業」の認定を受けた企業や、優れた経営成績や労働環境が認められ、「神奈川県優良工場表彰」を受賞した企業などに、参加を呼びかけていきたい。

3 県政の諸課題について

① 東日本大震災による福島県からの県内避難者の支援について

(質問) 福島県から、本県にも約300人の方が避難されている。福島県は、いわゆる「自主避難者」への住宅の提供期間を平成29年3月31日までとする通知を避難者に出した。そこで、県内に避難されている方々の避難生活が長期化している中、今後、県としてどのように支援を行っていくのか。

又、きめ細かな支援を行っていくためには、地元に戻るのかなど、或いは神奈川県に定住することができるのか、避難者の意向をしっかりと把握する必要がある。どのように取り組んでいくのか。

(答弁) 出身県の各種支援制度、復興状況等を伝えた上で、家族ごとの固有の事情、意向を丁寧に確認していくということが必要になる。平成28年度は、県内避難者に対するアンケートを新たに実施す

るなど、きめ細かな意向の把握と支援に努める。

② 受動喫煙防止条例の見直しに向けて

(質問) 「未病」を治すための取組を進める本県にとって受動喫煙防止は重要な施策の一つである。「未病」への取組やオリンピック競技の本県開催の状況などを踏まえ、来年度の条例見直しの検討をどのように進めていくのか。

(答弁) 私は、受動喫煙の防止は、県民の健康寿命を伸ばし、「未病を治す」取組を進める上でも、大変大切であると考ええる。

来年度の条例の見直しに当たっては、新たな観点やこれまでの実績を踏まえ、「神奈川県たばこ対策推進検討会」の意見を伺いながら、検討していく。受動喫煙防止対策を積極的に推進して、「健康寿命を延伸し、生き生きと暮らせる神奈川県」を目指す。



傍聴参観の皆さんと

県内避難者について 定住意向調査

16年度に県

黒岩祐治知事は24日、県が提供する住宅で避難生活を送っている東日本大震災の被災者を主な対象としたアンケート調査を、2016年度に実施する考えを明らかにした。同年度中から一部の避難者で住宅の提供が終了するため、県内定住か住所地への帰還希望かといった意向を調査し、支援につなげる。

県議会本会議で、民主党・かながわクラブの山下景子氏(茅ヶ崎市)の一般質問に答えた。黒岩知事は「家族ごとに事情や意向が異なる。よりきめ細やかな支援を続ける」とし、従来から実施している戸別訪問や情報提供の充実なども図る考えを示した。

県によると、主な対象者は公営住宅や借り上げマンションなどで生活している618世帯、1451人。(山本 昭子)

県議会本会議を傍聴して

私は今回、初めて神奈川県議会本会議を傍聴させていただきました。その中の大きな気づきとして、県は国と市区町村との間の立場にあるため、県議会は私たちの暮らしにおいても重要な役割にあるということでした。

今回の本会議の中で一番印象に残っているのは、日下議員の「かながわ女性の活躍応援団について」の質疑です。この質疑の内容から、神奈川県でも女性の活躍が推進されていることを知りました。そして私は、このような活動を通して、知事の答弁にもあったムーブメントの拡大を進めていく必要があると思つたのと同時に、さらなる女性の活躍の推進に期待したいと思つました。

今回の傍聴を通して、県議会での質疑応答は県民として常に、興味を持つべきものであると感じました。今後機会があればまた傍聴させていただきたいと思つます。

インタビュー 青木 花世



神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と5つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は厚生常任委員会、行財政改革・地方分権特別委員会に所属しています。

厚生常任委員会 3月3日

4月障害者差別解消法への県の対策

(質問) 4月からの法の施行で、県としても、障害の有無によって分け隔てなく共生する社会を作るため、たった364万円の事業予算だが、進められるのか？

(答弁) 県では、職員対応要領を作り、市町村にも働きかけ、3月までには、県職員の障害者の方への対応サポートブックを作成する。

(要望) 県から市町村に情報を十分に提供して欲しい。さらに障害者差別解消法の啓発や周知を行い、県独自の条例制定も視野に進めて欲しい。



動物愛護ボランティアへの支援

(質問) 平塚の県動物保護センターでの、犬猫の殺処分ゼロを支えるボランティアへの補助金支援について内容は？

(答弁) 地域猫の避妊・去勢手術、セ

ンターでのトリミング費用、えさやワクチン代などボランティア団体や個人へ、887万円。さらにマイクロチップの推進など、今後も殺処分ゼロを継続するためボランティアとの連携、協力に取り組む。

子宮頸がん予防ワクチン健康被害支援

(質問) ワクチン接種後健康被害に苦しむ女性たちへの国の救済が進み、県支援の申請受付は終了したが、情報提供がまだ不十分だが、相談窓口での対応は？

(答弁) 市町村や高校とも連携し、国の支援への移行をスムーズに行い、総合相談窓口でも真摯に相談者に対応したい。

障害者虐待の防止

(質問) 県では、障害者虐待のアンケートを毎年行っているが、虐待が発生した時の対策・対応をどのようにしているのか？

(答弁) 家族による虐待には、家族への支援としてショートステイなどレスパイトを。施設従事者には、研修やマニユ

アルの徹底をする。特に管理者には、職場環境をよくするなどの対策をとる。

常任委員会を傍聴して

私は、3月3日の県議会の厚生委員会を傍聴しました。私は生まれてからずっと神奈川県に住んでいるものの、県議会に赴き傍聴させていただくということは未だに無く、初めての傍聴となりました。

日下議員の質問は2つであり、「障害者差別解消法」と「動物愛護センターのボランティア支援」でした。どちらの質問にも共通していたのが、予算についての質問でした。

日下議員は2つの質問を通して、予算がどれくらい・どのように・どうして使われているのかを具体的に質問されていました。税金は私たち県民が出し合つて構成されている予算ですのでしっかりと使われるべきであるのでこの質問はとても有意義なのではないかと感じました。機会がありましたらまた傍聴させていただきたいと考えております。

インタビュー 栗本 享寿



景子の神奈川行脚

【2015年11月】	【2016年1月】
1~3日 中国の旅 アモイ市	1日 中海岸神社初詣
4日 民主党岡田代表街宣応援 福島原発裁判傍聴	7日 駅頭 商工会議所賞詞交歓
5~6 福島視察 いわき市 豊岡町	8日 駅頭 生活クラブ新年会 市民相談
7日 療育相談	9日 くさか景子新春のつどい 神奈川土建新年会
8日 福島避難者交流会	10日 消防出初式 鶴が台団地新年会 柳島長命会新年会
9日 児童福祉審議会 藤沢大磯線要望	11日 高南駅伝式典 成人式 アメリカ研修勉強会
10日 民主党会派役員会 バスツアー	12日 議運 県庁賞詞交歓 市民相談 神教組新年会
11~13日 行財政改革・地方分権特別委員会 宮城県 福島県視察	13日 おひさま保育 予算説明 打合せ
14日 男女共同参画講演会 ピースウォーク 手芸展	14日 駅頭 湘南教組旗開き ライオンズクラブ定例会
15日 ふれあいのつどい 母子大会	15日 駅頭 一斉ちらしまき
16~18日 県政調査 視察 山形県 宮城県 福島県	16日 海岸地区新年会 県警大会 JR小田原支部旗開き
19日 駅頭 打ち合わせ ALL's リレーワーク ライオンズクラブ定例会	17日 駅頭 山口 岩国市長選応援
20日 駅頭 市民相談 税金を使わない街づくりの会 自治労大会	18日 駅頭 ライオンズクラブ理事会
21日 つつじ学園祭 思春期子育て講演会 シニアクラブ	19日 駅頭 ライオンズクラブノーレン新年会
22日 ライオンズクラブ寒川まつり 県ろうあ者大会 国民連合全国総会	20日 打合せ 女性応援団シンポジウム 県行政書士会新年会 市自治労新年会
23日 市社会福祉大会 アートTV	21日 おひさま保育 料理を楽しむ会 女性議員ネットワーク勉強会 湘南地域連合新年会
24日 駅頭 国会議	22日 社労士会新年会 古式消防新年会 JP労組新年会
26日 ライオンズクラブ会議	23日 生活クラブ基金講演会 県日中友好協会婦人部新年会 子どもの居場所見学 薬剤師会新年会
27日 きらめき祭養護学校 防災ママカフェ 知事への要望書提出	24日 ら・ぼれつと新年会
30日 本会議 議案説明 手話研修 金子洋一講演会	25日 駅頭 児童福祉審議会 打合せ 県日中友好協会新年会
【2015年12月】	26日 駅頭 ドットJP面接 民主党新年会 ライオンズクラブ打合せ
1日 おひさま保育 展覧会 女性議員ネットワーク勉強会	27日 おひさま保育 スポーツ公園説明会 打合せ 地域連合者懇談会
2日 駅頭 本会議 連合街頭	28日 ライオンズクラブ打合せ 茅ヶ崎警察新年会 ライオンズクラブ定例会
3日 本会議 ライオンズクラブ定例会	29日 療育 障害 高齢者 福祉施設
4日 駅頭 本会議	29~31日 アメリカ ロサンゼルス訪問
5日 茅ヶ崎市役所落成式	【2016年2月】
7日 FRN 白十字会養護施設寄付 市民相談	1~3日 アメリカ研修
8日 本会議 打ち合わせ	4日 市民相談
9日 駅頭 本会議 忘年会	5日 駅頭 打合せ ライオンズクラブ賞詞交換会
10日 おひさま保育 ライオンズクラブ理事会	6日 平和のつどい展示室 あべどもこ新年会
12日 WE21ジャパン会議 少年野球開会式 TAJ街頭募金活動	7日 市議会報告会
13日 少年野球開会式 食べよう会 打ち合わせ	8日 議運 会派説明 打合せ 茅日中新年会
14日 知事要望書提出 常任委員会 打ち合わせ	9日 駅頭
15日 特別委員会 ライオンズクラブ打ち合わせ	10日 おひさま保育 打合せ
16日 おひさま保育 アレセイアバスケットボール社行会	11日 梅まつり 市長新年会 オーションライオンズ記念事業 県医師会パーティ
17日 常任委員会 ライオンズクラブクリスマス会	12日 国会へ要望 おひさま保育舎学習会
18日 ミーティング 障害者チアリーディング学習会	13日 WE21ジャパンちがさき定例会
19日 げんき基金説明会 テモ 白十字会クリスマス会 サイクルキャビン発表会	15日 本会議
20日 立憲ネット総会 老人会 男女共同参画委員会会議	16日 駅頭 議案説明
21日 本会議 常任委員会	17日 本会議
22日 本会議 全国フェミニスト議員連盟会議	18日 本会議 ライオンズクラブ理事会
23日 餅つき	19日 おひさま保育 本会議 支援教育学習会
24日 おひさま保育	20日 こどもの貧困講演会
	21日 リメイク手芸 ライオンズクラブ周年行事
	22日 打合せ 映画会街宣 アートTV出演
	23日 本会議
	24日 本会議 後援会打合せ
	25日 本会議 ライオンズクラブ委員会
	26日 児童福祉審議会 子宮がん被害者対策 市消防の集まり
	27日 小出川桜まつり サボセンまつり 映画上映会
	28日 福島いわき市 西九議員祝勝会



2/27 「ザ・思いやり」上映会で



アメリカ ロサンゼルス 敬老ホーム前で

米国ロサンゼルスへ療育・高齢・障がい福祉を視察！

1月28日〜2月3日まで保育、高齢福祉、障がい福祉の現場からの参加者で、7日間の研修を行いました。

敬老ホーム（日系アメリカ人の特養ホーム）リタイヤメントホーム（ケアハウス）ナッシングホーム（老人保健施設）JSPACC（手をつなぐ親の会）障害を持つ子供たちの日本語を話す親たちのサポートグループ、ACES（主に自閉症の方々へのサポートや支援、行動療法など）モンテッソリの幼稚園見学など。

アメリカは、州によって制度が異なり、特にカリフォルニア州は進んでおり、障害を持つ子どもたちへの制度は、生まれてから一生涯、統一的な支援計画が施され、自立に向けて、権利や人権に配慮されています。親へのレスパイト（休息）も保障されています。従って親たちも制度をかなり勉強し、どんなサービスがあるのか自分で把握しています。

アメリカと日本の制度や考え方の違いはありますが、学ぶべきことが多くありました。